

臨床研究のお知らせ

私達は、下記のように臨床研究を実施しております。本研究は、愛育病院倫理委員会での承認を得た上で、個人情報特定できない形で行っております。しかし、該当する方がご自分の情報を使用して欲しくない場合は、これを拒否することも可能です。

・研究計画名

分娩時に発症した常位胎盤早期剥離の臨床的検討

・研究の意義・目的

常位胎盤早期剥離（早剥）は正常位置に付着している胎盤が、妊娠中または分娩経過中の児娩出以前に子宮壁から剥離するもので、重篤な場合には母体死亡や胎児死亡を来すなど非常に予後不良な疾患です。妊娠中の早剥については従来多くの報告がなされ、臨床経過も十分量のデータが集積されてきていますが、陣痛開始後に発症した早剥（分娩時早剥）については診断方法や予後、リスク因子などに関する十分な知見がありません。今回、分娩時早剥について検討を行うことで分娩時早剥の早期診断や予後向上に繋がることが期待されます。

・研究対象と方法

2018年の1年間に当院で出産された、正期産単胎妊婦を対象とし、電子カルテから院内の規定に従い匿名化などの所定の手続きを行ったうえで、エクセルデータとして取り出し、年齢、経産、緊急帝王切開分娩、吸引・鉗子分娩、陣痛促進薬の使用、前期破水、妊娠高血圧症候群（HDP）、DIC、臍帯動脈血pH、出生児体重、small for date児（SFD児）、NICU入院、臍帯巻絡、胎盤重量、胎盤重量・出生児体重比、臍帯長、分娩時総出血量の各項目について、分娩時早剥群と早剥のなかった群との間で後方視的に検討します。

・個人情報保護について

本研究において用いられる情報は愛育病院のみで管理・保管されます。データは個人が特定できない形に加工してから解析を行うため、個人情報の漏えいや人権が損なわれる心配はありません。学会等での発表の際にも、個人が特定できないように行います

・研究責任者

総合母子保健センター 愛育病院
産婦人科 部長 竹田善治

・参加拒否の自由

参加は自由であり、随時参加の撤回が可能です。それにより不当な医療上の不利益は発生しません。参加されないことをご希望される場合は、下記にご連絡ください。

・お問い合わせ先

総合母子保健センター 愛育病院
産婦人科部長 竹田善治
〒105-8321
東京都港区芝浦 1 丁目 16 番 10 号
電話： 03-6453-7300
FAX： 03-6453-7301